

国際機関における地方創生をめぐる議論
OECD（経済協力開発機構）地域開発政策委員会だより
(PART II)

(11) 第5回 OECD「都市・地域とSDGsに関する円卓会議」

2022年4月26日、第5回 OECD「都市・地域とSDGsに関する円卓会議」がリモート形式で開催された。この円卓会議は2019年に策定された OECD「都市・地域におけるSDGs計画」(OECD Programme on a Territorial Approach to the SDGs)に基づき同年3月にフランスのパリ、12月にドイツのボンで開かれて以来、毎年開催されているものである。会議には都市・地域、各国政府、国際機関等のほか、民間部門、市民団体、学識経験者、慈善団体などSDGsに関わる幅広いステークホルダー達の参加が呼びかけられた。

会議では、次のように様々なテーマが議論の俎上に上った。

- ・ OECD 報告書「都市・地域における新型コロナ禍からの回復のためのフレームワークとしてのSDGs」(A Sustainable Development Goals as a Framework for COVID-19 Recovery in Cities and Regions) の策定作業の紹介
- ・ OECD による「SDGsの実施のためのツールキット(案)」(The draft OECD toolkit to implement a Territorial Approach to SDGs) の紹介
これには、都市・地域の政策立案のツールとして、わが国の北九州市などSDGsが活用された10の事例、都市・地域のための自己診断ツールとその実施のためのガイダンスが含まれている。
- ・ 都市同士のパートナーシップや分散型の事業協力が、地域に根差したSDGsの進展に果たす役割についての議論